

定期事業者検査報告書

(定期事業者検査開始時)

原管発官 R4 第 187 号

2022年11月1日

原子力規制委員会 殿

東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

東京電力ホールディングス株式会社

代表執行役社長 小早川 智明

核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の16第3項の規定により次のとおり定期事業者検査について報告します。

氏名又は名称及び住所並びに法人 にあっては、その代表者の氏名	名 称 東京電力ホールディングス株式会社 住 所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号 代表者の氏名 小早川 智明
発電用原子炉を設置した工場又は 事業所の名称及び所在地	名 称 福島第二原子力発電所 所在地 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作12
検査に係る発電用原子炉施設の 種類及び施設番号	第1号機 当該発電用原子炉施設の種類は、別紙-1のとおり
検査の実績又は予定の概要	予定 自 2022年 12月 5日 至 2023年 3月 31日 検査の計画及び実績については、別紙-2のとおり

別紙－1 当該発電用原子炉施設の種類

発電用原子炉施設の 種類及び施設番号	第1号機	原子炉本体
	〃	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設
	〃	放射性廃棄物の廃棄施設
	〃	放射線管理施設
	〃	原子炉格納施設
	〃	その他原子炉の附属施設
	〃	その他主要施設

別紙ー２ 定期事業者検査の計画及び実績

(1 / 2)

定期事業者検査名	今回の計画及び実績		備考
	※1	※2	
建物外観検査	—	○	
燃料取替機機能確認検査	—	—	
原子炉建屋クレーン機能確認検査	—	○	
キャスク除染装置外観検査	—	—	
新燃料貯蔵施設外観検査	—	—	
使用済燃料プール外観検査	—	○	
使用済燃料貯蔵ラック外観検査	—	○	
監視機能確認検査	—	○	
燃料プール冷却浄化系運転機能検査	—	○	
復水貯蔵タンク外観検査	—	○	
使用済燃料輸送容器機能確認検査	—	—	
排気筒外観検査	—	○	
廃棄物処理設備の貯蔵能力確認検査(その1)	—	○	
廃棄物処理設備の貯蔵能力確認検査(その2)	—	○	
洗濯廃液系濃縮装置運転性能検査	—	○	
サイトバンカ貯蔵プール外観検査	—	○	
減容装置運転状態確認検査	—	○	
濃縮洗濯廃液乾燥装置運転性能検査	—	○	
固体廃棄物移送容器外観検査	—	—	
出入管理関係設備機能確認検査	—	○	
試料分析関係設備機能確認検査	—	○	
エリア放射線モニタリング設備機能確認検査(その1)	—	○	
エリア放射線モニタリング設備機能確認検査(その2)	—	○	
放射線サーベイ機器機能確認検査	—	○	
個人管理用測定設備及び測定機器機能確認検査	—	○	
放射線計測器の較正設備機能確認検査	—	○	
プロセス放射線モニタリング設備機能確認検査(その1)	—	○	
プロセス放射線モニタリング設備機能確認検査(その2)	—	○	
環境モニタリング設備機能確認検査	—	○	
換気空調系運転状態確認検査(その1)	—	○	
換気空調系運転状態確認検査(その2)	—	○	

定期事業者検査名	今回の計画及び実績		備考
	※1	※2	
換気空調系運転状態確認検査(その3)	—	○	
蓄電池運転性能検査	—	○	
消火装置機能確認検査	—	○	
原子炉補機冷却系運転状態確認検査(その1)	—	○	
原子炉補機冷却系運転状態確認検査(その2)	—	○	
非常用照明機能確認検査	—	○	

今回の定期事業者検査計画及び実績 (○：計画 ●：実績 —：計画・実績なし)

※1：先行実施検査（前回の検査終了以降当該検査開始までに実施した検査）

※2：当該検査開始～当該検査終了までの期間

添 付 書 類

- 添付書類一 定期事業者検査の計画
- 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標
- 添付書類三 施設管理の実施に関する計画
- 添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）
- 添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二、三、四）からの変更内容
- 添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二及び三）についての評価結果（保全の有効性評価の結果に関する説明書）
- 添付書類七 定期事業者検査の判定方法（一定の期間に限る）を変更した場合の実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項各号の事項について

添付書類一 定期事業者検査の計画

福島第二原子力発電所

第1号機

第2回 定期事業者検査計画書

目 次

1. 定期事業者検査の計画工程	1
-----------------	---

別紙 定期事業者検査工程表

1. 定期事業者検査の計画工程

定期事業者検査（実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第55条第1項の時期に行う定期事業者検査）については、次の期間で実施する。

(1) 定期事業者検査の工程

自 2022年 12月 5日
至 2023年 3月 31日

(2) 当該定期事業者検査期間中に実施する工事

定期事業者検査の工程に直接影響する工事はない。

(3) 当該定期事業者検査期間中に実施する定期事業者検査の項目

本文（別紙－2）に記載

(4) 前回の定期事業者検査からの変更点

なし

定期事業者検査工程表

添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標

福島第二原子力発電所

第1号機

保全活動管理指標

目 次

1. 保全活動管理指標	1
-------------	---

別紙 保全活動管理指標

1. 保全活動管理指標

保全の有効性を監視，評価するために，保全重要性を踏まえ「系統レベル」の保全活動管理指標及びその目標値を別紙のとおり設定する。

保全活動管理指標

1. 系統レベル

系統名	要求機能	予防可能故障回数 目標値	備考
F15 燃料取替機器	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2) [燃料取扱機能]	<2 回/サイクル	
F16 燃料貯蔵設備	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能(PS-2)[-]	<2 回/サイクル	
F31 プールラケ	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能(PS-2)[-]	<2 回/サイクル	
G41 燃料プール冷却 浄化系	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能の間接関連系 (PS-3)[燃料プール水冷却機能]	<2 回/サイクル	
U31 クレーン及びホスト	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2) [燃料取扱機能]	<2 回/サイクル	
U43 消火系	(ノンクラス)[代替注水機能(AM 対策)]	<2 回/サイクル	

添付書類三 施設管理の実施に関する計画

福島第二原子力発電所
第1号機
保全計画

目 次

I. 施設管理の実施に関する始期（定期事業者検査の開始する日をいう） 及び期間	1
II. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期	1
1. 工事の計画	1
III. 発電用原子炉施設の点検，検査等の方法，実施頻度及び時期	1
1. 点検計画	1
IV. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の 確保のための措置	2

別紙 福島第二原子力発電所第1号機 点検計画
(第2保全サイクル)

I. 施設管理の実施に関する始期（定期事業者検査の開始する日をいう）及び期間

本保全計画の適用期間は、第2回定期事業者検査開始日から第3回定期事業者検査開始日の前日までの期間（第2回定期事業者検査終了日以降13ヶ月までの間）とし、以降、この期間を第2保全サイクルという。但し、この期間内に第3回定期事業者検査を開始した場合には、その前日までの期間とする。

II. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

1. 工事の計画

なし

III. 発電用原子炉施設の点検、検査等の方法、実施頻度及び時期

福島第二原子力発電所第1号機 第2保全サイクルの保全計画について、以下のとおり策定した。

1. 点検計画

保全サイクル中の点検について、予め保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「施設管理基本マニュアル」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検計画を別紙に記載する。

なお、付帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「重要度分類・保全方式策定マニュアル」「原子力発電所建築設備点検マニュアル」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認すると共に、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行う。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化等の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

IV. 発電用原子炉施設の工事及び点検等を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査は保安規定に定める制限を遵守して実施する。なお、定期事業者検査以外の安全上重要な点検等の計画はない。

福島第二原子力発電所
第1号機
点検計画
(第2保全サイクル)

点検計画の記載について

「1. 点検計画」については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

- ① 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備（性能維持施設）
- ② 廃止措置計画で定める性能維持施設の点検等を考慮して供用する設備

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・ 定期事業者検査に係わる点検
- ・ 定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・ 記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や主要機器以外の機器の点検等）については、「施設管理基本マニュアル」に定めている。

(3) 保全の重要度について

「施設管理基本マニュアル」の考え方に従い、「T1」又は「T2」の何れかで表記している。なお、重要度「T1」の設備については保全方式として予防保全（時間基準保全，状態基準保全）を選定し，事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下の通り記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM

(5) 点検頻度について

次の整理により「C」：保全サイクル，「M」：月，「Y」：年，「FY」：年度で表記している。

- ・保全サイクルで管理するものについては，「C」により表記している。
- ・年度管理するものについては，「FY」により表記している。
- ・年管理するものについては，「Y」により表記している。
- ・月管理するものについては，「M」により表記している。
- ・性能維持のための措置を伴わない点検の内，分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについては，「B」により表記している。
- ・点検頻度を定めず使用前に点検を実施するものについては，「使用時点検」と表記している。

(6) 点検時期について

時間基準保全の点検については，点検頻度に応じた時期に実施することとしている。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については，経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術，巡視等）並びにその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については，保全をより充実する観点で，採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

(8) 今回の実施計画について

第2保全サイクル中に点検を計画するものに「○」を記載している。

なお，複数の機器や複数の点検項目をまとめて記載した項目にあつては，本保全サイクル中に1つでも点検の計画があれば「○」としている。

(9) 前回の実施時期について

当該点検の前回実績（実施時期）を記載している。

なお，複数の機器や複数の点検項目をまとめて記載した項目にあつては，最新実績を記載している。

目 次

1. 点検計画

機器又は系統名	ページ
原子炉補機冷却系	1/20
補機冷却海水系	1/20
燃料プール冷却浄化系	2/20
燃料取扱装置	2/20
キャスク除染装置	3/20
原子炉建屋クレーン	3/20
燃料貯蔵設備	3/20
換気設備	3/20
プロセスモニタ	7/20
放射線管理用計測装置	8/20
液体廃棄物処理系	9/20
サイトバンカ設備	15/20
固体廃棄物処理系	15/20
建物	17/20
直流電源系	18/20
排気筒	18/20
復水補給水系	18/20
消火系	18/20
監視機能	19/20
燃料設備	19/20
廃棄設備	19/20
濃縮洗濯廃液系	19/20
試料分析関係設備	20/20
減容装置	20/20
非常用照明	20/20

2. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検

機器又は系統名	ページ
対象なし	1/1

1. 点検計画

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数 (機器名)	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 () 内は適用する状態監視方法	
原子炉補機冷却系	原子炉補機冷却系 1式	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	原子炉補機冷却系運転状態確認検査 (その1)		
	原子炉補機冷却系第一ループポンプ (A)	T 1	分解点検	8 2M※	—	1	—	※暦月管理	
			漏えい試験	B	—	1	—		
	原子炉補機冷却系第一ループポンプ (A) 電動機	T 1	分解点検	C BM	—	—	—	(振動診断 3 M)	
	原子炉補機冷却系第二ループポンプ (A)	T 1	分解点検	8 0M※	—	1	—	※暦月管理	
			漏えい試験	B	—	1	—		
	原子炉補機冷却系第二ループポンプ (A) 電動機	T 1	分解点検	C BM	—	—	—	(振動診断 3 M)	
	原子炉補機冷却系第一ループ熱交換器 (A)	T 1	開放点検	C BM	—	—	—	—	(巡視 1 回/日)
			非破壊試験	B	—	—	—	—	
			漏えい試験	B	—	—	—	—	
	原子炉補機冷却系第二ループ熱交換器 (B)	T 2	開放点検	2 0M※	—	1	—	—	※暦月管理
			非破壊試験	B	—	1	—	—	
			漏えい試験	B	—	1	—	—	
	原子炉補機冷却系第二ループ熱交換器 (C)	T 1	開放点検	2 0M※	—	○	1	—	※暦月管理
			非破壊試験	B	—	○	1	—	
漏えい試験			B	—	○	1	—		
補機冷却海水系	補機冷却海水系統	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	原子炉補機冷却系運転状態確認検査 (その2)		
	補機冷却海水ポンプ (A)	T 1	分解点検	3 4M※	—	1	—	※暦月管理 振動診断 3 M	
			漏えい試験	B	—	1	—		
	補機冷却海水ポンプ (A) 電動機	T 1	分解点検	C BM	—	—	—	(振動診断 3 M, 赤外線診断 6 M)	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 () 内は適用する状態監視方法
燃料プール冷却浄化系	燃料プール冷却浄化系 1式	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	燃料プール冷却浄化系運転機能検査	
	燃料プールポンプ (A)	T 1	分解点検	C BM	-	-	-	(振動診断 3 M)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	燃料プールポンプ (B)	T 2	分解点検	C BM	-	-	-	(振動診断 3 M)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	燃料プール補給水ポンプ	T 1	分解点検	C BM	-	-	-	(振動診断 1 C)
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	燃料プールポンプ (A) 電動機	T 1	分解点検	C BM	-	-	-	(振動診断 3 M)
	燃料プールポンプ (B) 電動機	T 2	分解点検	C BM	-	-	-	(振動診断 3 M, 赤外線診断 6 M)
	燃料プール補給水ポンプ電動機	T 1	分解点検	1 0 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (A)	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	燃料プール冷却浄化系熱交換器 (B)	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
燃料プール冷却浄化系ろ過脱塩器 (A)	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)	
		漏えい試験	B	-	-	-		
燃料取扱装置	燃料交換機 1台	T 1	機能・性能検査	使用時検査	-	-	燃料取替機機能確認検査	
			分解点検	使用前に点 検実施	-	-	-	
			簡易点検 (外観点検)	使用時点検	-	-	-	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法
キャスク除染装置	キャスク除染装置 1式	T 1	外観点検	使用開始時に点検実施	-	-	-	
			外観検査	使用開始時に検査実施	-	-	キャスク除染装置外観検査	
原子炉建屋クレーン	原子炉建屋クレーン 1台	T 1	分解点検	1 Y	○	1	-	
			機能・性能検査	1 Y	○	1	原子炉建屋クレーン機能確認検査	
			簡易点検(外観点検)	1 Y	○	1	-	
燃料貯蔵設備	使用済燃料貯蔵ラック 1式	T 1	外観点検(ラック上部)	1 7 M※	○	1	-	※暦月管理
			外観検査	1 C	○	1	使用済燃料貯蔵ラック外観検査	
	新燃料貯蔵ラック 1式	T 1	外観点検(ラック上部)	使用開始時に点検実施	-	-	-	
			外観検査	使用開始時に検査実施	-	-	新燃料貯蔵施設外観検査	
	使用済燃料プール	T 1	外観検査	1 C	○	1	使用済燃料プール外観検査	
換気設備	換気空調系統(原子炉設備)	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	換気空調系運転状態確認検査(その1)	
	R/B送風機(A)	T 1	簡易点検	1 2 0 M※	-	-	-	※暦月管理
	R/B送風機(B)	T 2	簡易点検	1 2 0 M※	-	-	-	※暦月管理
	R/B排風機(A)	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3 M, 潤滑油診断6 M)
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	R/B排風機(B)	T 2	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3 M, 潤滑油診断6 M)
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	R/B送風機(A)電動機	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3 M)
	R/B送風機(B)電動機	T 2	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3 M)
	R/B排風機(A)電動機	T 1	分解点検	8 5 M※	-	-	-	※暦月管理
R/B排風機(B)電動機	T 2	分解点検	8 5 M※	○	-	-	※暦月管理	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法
換気設備	RW/A送風機 (A)	T 1	簡易点検	1 2 0 M※	—	—	—	※暦月管理
	RW/A送風機 (B)	T 2	簡易点検	1 2 0 M※	—	—	—	※暦月管理
	RW/A排風機 (A)	T 1	分解点検	1 3 1 M※	○	—	—	※暦月管理
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理
	RW/A排風機 (B)	T 2	分解点検	1 6 4 M※	○	—	—	※暦月管理
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理
	RW/A送風機 (A) 電動機	T 1	分解点検	1 7 0 M※	—	—	—	※暦月管理
	RW/A送風機 (B) 電動機	T 2	分解点検	1 7 0 M※	—	—	—	※暦月管理
	RW/A排風機 (A) 電動機	T 1	分解点検	C B M	—	—	—	(振動診断 3 M)
	RW/A排風機 (B) 電動機	T 2	分解点検	C B M	—	—	—	(振動診断 3 M)
	換気空調系統 (タービン設備)	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	換気空調系運転状態確認検査 (その 2)	
	T/B 送風機 (A)	T 1	分解点検	1 6 4 M※	—	—	—	※暦月管理
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理
	T/B 送風機 (B)	T 2	分解点検	1 6 4 M※	—	1	—	※暦月管理
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	—	1	—	※暦月管理
	T/B 送風機 (C)	T 2	分解点検	1 6 4 M※	—	—	—	※暦月管理
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理
	T/B 排風機 (A)	T 1	分解点検	C B M	—	—	—	(振動診断 3 M, 潤滑油診断 6 M)
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理
	T/B 排風機 (B)	T 2	分解点検	C B M	—	—	—	(振動診断 3 M, 潤滑油診断 6 M)
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理
T/B 排風機 (C)	T 2	分解点検	C B M	—	—	—	(振動診断 3 M, 潤滑油診断 6 M)	
		簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法	
換気設備	T/B送風機(A)電動機	T1	分解点検	CBM	-	-	-	(振動診断3M)	
	T/B送風機(B)電動機	T2	分解点検	CBM	-	-	-	(振動診断3M)	
	T/B送風機(C)電動機	T2	分解点検	CBM	-	-	-	(振動診断3M)	
	T/B排風機(A)電動機	T1	分解点検	102M※	-	-	-	※暦月管理	
	T/B排風機(B)電動機	T2	分解点検	102M※	-	-	-	※暦月管理	
	T/B排風機(C)電動機	T2	分解点検	102M※	-	-	-	※暦月管理	
	T/B オペフロ送風機(A)	T2	分解点検	120M※	-	-	-	※暦月管理	
	T/B オペフロ送風機(B)	T1	分解点検	120M※	-	-	-	※暦月管理	
	T/B オペフロ排風機(A)	T2	分解点検	CBM	-	-	-	-	(振動診断3M, 潤滑油診断6M)
									簡易点検 (カップリング点検)
	T/B オペフロ排風機(B)	T1	分解点検	CBM	-	-	-	-	(振動診断3M, 潤滑油診断6M)
									簡易点検 (カップリング点検)
	T/Bオペフロ送風機(A)電動機	T2	分解点検	CBM	-	-	-	-	(振動診断3M)
	T/Bオペフロ送風機(B)電動機	T1	分解点検	CBM	-	-	-	-	(振動診断3M)
	T/Bオペフロ排風機(A)電動機	T2	分解点検	102M※	○	-	-	-	※暦月管理
	T/Bオペフロ排風機(B)電動機	T1	分解点検	102M※	-	1	-	-	※暦月管理
	CH/B送風機(A)	T1	簡易点検	120M※	-	-	-	-	※暦月管理
	CH/B排風機(A)	T1	簡易点検	120M※	-	-	-	-	※暦月管理
	CH/B送風機(A)電動機	T1	分解点検	CBM	-	-	-	-	(振動診断3M)
	CH/B排風機(A)電動機	T1	分解点検	CBM	-	-	-	-	(振動診断3M, 赤外線診断6M)

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法
換気設備	換気空調系統(廃棄物処理設備)	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	換気空調系運転状態確認検査(その3)	
	RW/B 送風機(A)	T 1	分解点検	1 2 F Y	-	1	-	
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	RW/B 送風機(B)	T 1	分解点検	1 2 F Y	○	-	-	
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	RW/B 送風機(C)	T 2	分解点検	1 2 F Y	○	-	-	
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	RW/B 送風機(A)電動機	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3M)
	RW/B 送風機(B)電動機	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3M)
	RW/B 送風機(C)電動機	T 2	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3M)
	RW/B 排風機(A)	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3M)
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	○	-	-	※暦月管理
	RW/B 排風機(B)	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3M)
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	RW/B 排風機(C)	T 2	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3M)
			簡易点検 (カップリング点検)	7 2 M※	-	-	-	※暦月管理
	RW/B 排風機(A)電動機	T 1	分解点検	7 F Y	○	-	-	
	RW/B 排風機(B)電動機	T 1	分解点検	7 F Y	-	-	-	
	RW/B 排風機(C)電動機	T 2	分解点検	7 F Y	-	-	-	
	RW/B ランドリ送風機	T 1	分解点検	1 2 0 M※	-	-	-	※暦月管理
RW/B ランドリ送風機電動機	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(振動診断3M)	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 （保全サイクル）	検査名	備考 （ ）内は適用する状態監視方法
換気設備	RW/B ランドリ排風機（A）	T 1	分解点検	1 2 F Y	—	1	—	
			簡易点検 （カップリング点検）	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理
	RW/B ランドリ排風機（B）	T 2	分解点検	1 0 F Y	—	—	—	
			簡易点検 （カップリング点検）	7 2 M※	—	—	—	※暦月管理
	RW/B ランドリ排風機（A）電動機	T 1	分解点検	C B M	—	—	—	（振動診断3 M）
	RW/B ランドリ排風機（B）電動機	T 2	分解点検	C B M	—	—	—	（振動診断3 M）
	サイトバンカ建屋給気ファン（A）	T 1	分解点検	1 2 0 M※	—	—	—	※暦月管理
	サイトバンカ建屋給気ファン（B）	T 2	分解点検	1 2 0 M※	—	—	—	※暦月管理
	サイトバンカ建屋給気ファン（A）電動機	T 1	分解点検	1 3 F Y	—	1	—	
	サイトバンカ建屋給気ファン（B）電動機	T 2	分解点検	1 3 F Y	—	—	—	
	サイトバンカ建屋排気ファン（A）	T 1	分解点検	1 2 F Y	—	—	—	
	サイトバンカ建屋排気ファン（B）	T 1	分解点検	1 2 F Y	○	—	—	
	サイトバンカ建屋排気ファン（C）	T 2	分解点検	1 2 F Y	○	—	—	
	サイトバンカ建屋排気ファン（A）電動機	T 1	分解点検	1 3 F Y	○	—	—	
サイトバンカ建屋排気ファン（B）電動機	T 1	分解点検	1 3 F Y	—	1	—		
サイトバンカ建屋排気ファン（C）電動機	T 2	分解点検	1 3 F Y	○	—	—		
プロセスモニタ	プロセス放射線モニタ 3台	T 1	特性検査	1 C	○	1	プロセス放射線モニタリング設備機能 確認検査（その1）	
			特性試験	2 7 M※	○	1	—	※暦月管理
	プロセス放射線モニタ 5台	T 1	特性検査	1 C	○	1	プロセス放射線モニタリング設備機能 確認検査（その2）	
			特性試験	1 F Y	○	1	—	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法
放射線管理用計測装置	モニタリングポスト 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
	空間放射性粒子濃度測定装置 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
	空間γ線測定装置（放射能観測車） 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
	GM計数装置（放射能観測車） 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
	よう素測定装置（放射能観測車） 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
	ドップラーソーダ 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
	10m風向風速計 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
	温度計 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
	雨量計 1式	T1	外観点検 特性試験 機能・性能試験	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	環境モニタリング設備機能確認検査	
ホールボディカウンタ 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理	
		外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	個人管理用測定設備及び測定機器機能確認検査		

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法
放射線管理用計測装置	電子式線量計 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	個人管理用測定設備及び測定機器機能 確認検査	
	退出モニタ 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	出入管理関係設備機能確認検査	
	電離箱式サーベイメータ 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	放射線サーベイ機器機能確認検査	
	中性子線サーベイメータ 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	放射線サーベイ機器機能確認検査	
	GM汚染サーベイメータ 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	放射線サーベイ機器機能確認検査	
	α線サーベイメータ 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	放射線サーベイ機器機能確認検査	
	集積線量計 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	放射線サーベイ機器機能確認検査	
線源校正装置 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理	
		外観検査 機能・性能検査	1C	○	1	放射線計測器の校正設備機能確認検査		
液体廃棄物処理系	液体廃棄物の廃棄設備	T1	外観・漏えい検査	1C	○	1	廃棄物処理設備の貯蔵能力確認検査 (その1)	
	高電導度廃液受タンクA	T1	開放点検	CBM	—	—	—	(巡視1回/日)
			漏えい試験	B	—	—	—	
			非破壊試験	B	—	—	—	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 () 内は適用する状態監視方法
液体廃棄物処理系	高電導度廃液受タンクB	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	高電導度廃液受タンクC	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	高電導度廃液受タンクD	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	高電導度廃液収集タンクA	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	高電導度廃液収集タンクB	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	高電導度廃液収集タンクC	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	高電導度廃液収集タンクD	T 1	開放点検	C BM	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の 重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備 考 () 内は適用する状態監視方法
液体廃棄物処理系	高電導度廃液貯留槽A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	高電導度廃液貯留槽B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液受タンクA	T 1	開放点検	1 0 F Y	-	-	-	
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液受タンクB	T 1	開放点検	1 5 F Y	-	-	-	
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液受タンクC	T 1	開放点検	1 0 F Y	-	-	-	
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液収集槽A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液収集槽B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液系ろ過器A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液系ろ過器B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
低電導度廃液系脱塩塔A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)	
		漏えい試験	B	-	-	-		

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の 重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 （保全サイク ル）	検査名	備 考 （ ）内は適用する状態監視方法
液体廃棄物処理系	低電導度廃液系脱塩塔B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液サンプル槽A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液サンプル槽B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液ろ過器供給タンクA	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	低電導度廃液ろ過器供給タンクB	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	洗濯廃液ろ過器A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	洗濯廃液ろ過器B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	洗濯廃液系脱塩塔A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
洗濯廃液再使用水槽A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)	
		漏えい試験	B	-	-	-		

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法	
液体廃棄物処理系	洗濯廃液再使用水槽B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)	
			漏えい試験	B	-	-	-		
	洗濯廃液再使用水槽C	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)	
			漏えい試験	B	-	-	-		
	洗濯廃液収集タンクA	T 1	開放点検	1 0 F Y	-	-	-		
			漏えい試験	B	-	-	-		
	洗濯廃液収集タンクB	T 1	開放点検	7 F Y	-	-	-		
			漏えい試験	B	-	-	-		
	洗濯廃液ろ過水タンク	T 1	開放点検	1 5 F Y	-	-	-		
			漏えい試験	B	-	-	-		
	洗濯廃液蒸留水タンクA	T 1	開放点検	7 F Y	-	1	-	-	
			漏えい試験	B	-	1	-	-	
	除染廃液受タンクA	T 1	開放点検	C B M	○	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	○	-	-	-	
			非破壊試験	B	○	-	-	-	
	除染廃液受タンクB	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	-	
	除染廃液収集タンクA	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	-	
非破壊試験			B	-	-	-	-		

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の 重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備 考 () 内は適用する状態監視方法
液体廃棄物処理系	除染廃液収集タンクB	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	シャワードレン受タンク	T 1	開放点検	1 0 F Y	-	-	-	
			漏えい試験	B	-	-	-	
	シャワードレン収集槽A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	シャワードレン収集槽B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	シャワードレン系ろ過器A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	シャワードレン系ろ過器B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	洗濯廃液系濃縮装置 1 式	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	洗濯廃液系濃縮装置運転性能検査	
	洗濯廃液系濃縮装置A[加熱缶]	T 1	開放点検	6 F Y	-	1	-	
			非破壊試験	B	-	1	-	
	洗濯廃液系濃縮装置A復水器	T 1	開放点検	6 F Y	-	1	-	
	洗濯廃液系濃縮装置A冷却器	T 1	開放点検	6 F Y	-	1	-	
	洗濯廃液系濃縮装置A	T 1	開放点検	6 F Y	-	1	-	
			漏えい試験	B	-	1	-	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法	
液体廃棄物処理系	洗濯廃液系濃縮装置デミスタA	T 1	開放点検	6 F Y	-	1	-		
			漏えい試験	B	-	1	-		
サイトバンカ設備	サイトバンカ貯蔵プール	T 1	外観検査	1 C	○	1	サイトバンカ貯蔵プール外観検査		
固体廃棄物処理系	固体廃棄物の廃棄設備	T 1	外観・漏えい検査	1 C	○	1	廃棄物処理設備の貯蔵能力確認検査 (その2)		
	原子炉冷却材浄化系沈降分離槽A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)	
			漏えい試験	B	-	-	-		
	原子炉冷却材浄化系沈降分離槽B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)	
			漏えい試験	B	-	-	-		
	原子炉冷却材浄化系沈降分離槽C	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)	
			漏えい試験	B	-	-	-		
	原子炉冷却材浄化系沈降分離槽D	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)	
			漏えい試験	B	-	-	-		
	原子炉冷却材浄化系逆洗受タンク	T 1	開放点検	使用時点検	-	-	-	-	
			漏えい試験	B	-	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	-	
	燃料プール冷却浄化系逆洗受タンク	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)	
			漏えい試験	B	-	-	-	-	
非破壊試験			B	-	-	-	-		
復水浄化系逆洗受タンク	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)		
		漏えい試験	B	-	-	-	-		
		非破壊試験	B	-	-	-	-		

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法
固体廃棄物処理系	復水浄化系沈降分離槽A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	復水浄化系沈降分離槽B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	復水浄化系沈降分離槽C	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	復水浄化系沈降分離槽D	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	復水浄化系沈降分離槽E	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	復水浄化系沈降分離槽F	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	使用済樹脂槽A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	使用済樹脂槽B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	使用済樹脂槽C	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
使用済樹脂槽D	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1回/日)	
		漏えい試験	B	-	-	-		

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 () 内は適用する状態監視方法
固体廃棄物処理系	濃縮廃液タンク A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	濃縮廃液タンク B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	濃縮廃液タンク C	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
	濃縮洗濯廃液タンク A	T 1	開放点検	1 2 F Y	-	-	-	
			漏えい試験	B	-	-	-	
			非破壊試験	B	-	-	-	
濃縮洗濯廃液タンク B	T 1	開放点検	1 2 F Y	-	1	-		
		漏えい試験	B	-	1	-		
		非破壊試験	B	-	1	-		
建物	建物 1 式	T 1	外観検査	2 C	○	-	建物外観検査	
	コントロール建屋（鉄筋コンクリート）	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	-	-	
	原子炉圧力容器周囲のコンクリート壁	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	-	-	
	原子炉格納容器外周の壁	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	-	-	
	原子炉建屋原子炉棟	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	-	-	
	原子炉建屋原子炉棟側面のコンクリート壁	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	-	-	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数（機器名）	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式または頻度	今回の実施計画	前回実施時期（保全サイクル）	検査名	備考 （ ）内は適用する状態監視方法
建物	原子炉建屋付属棟	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	—	—	
	原子炉建屋（鉄骨）	T 1	鋼材劣化	2 Y	○	—	—	
	タービン建屋	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	—	—	
	サービス建屋	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	—	—	
	廃棄物処理建屋	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	—	—	
	活性炭式希ガス・ホールドアップ装置建屋	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	—	—	
	サイトバンカ建屋	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	—	—	
	使用済燃料輸送容器（キャスク）保管建屋	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	—	—	
	固体廃棄物貯蔵庫	T 1	・ひび割れ ・表面劣化	2 Y	○	—	—	
直流電源系	直流125V蓄電池（B系） 60セル	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	蓄電池運転性能検査	
	直流125V蓄電池（B系） 60セル	T 1	簡易点検（外観点検）	6 M※	○	1	—	※暦月管理
排気筒	排気筒（筒身）	T 1	外観検査	1 C	○	1	排気筒外観検査	
	1号機排気筒（筒身）	T 1	外観点検	1 FY	○	1	—	
	1～4号機Rw排気筒（筒身）	T 1	外観点検	1 FY	○	1	—	
復水補給水系	復水貯蔵タンク	T 1	外観検査	1 C	○	1	復水貯蔵タンク外観検査	
			開放点検	170M※	—	—	—	※暦月管理
			漏えい試験	B	—	—	—	
消火系	消火装置 1式	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	消火装置機能確認検査	
	電動機駆動消火ポンプ	T 1	分解点検	6 FY	—	—	—	
	電動機駆動消火ポンプ電動機	T 1	分解点検	5 FY	○	—	—	
	ディーゼル駆動消火ポンプ	T 1	分解点検	6 FY	—	—	—	

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法
消火系	消火ポンプ用ディーゼルエンジン	T 1	分解点検	6 F Y	-	-	-	
	ろ過水タンク A	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
	ろ過水タンク B	T 1	開放点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
	ホース置き場	T 1	機能・性能点検	1 Y	○	1	-	
	移動形のCO ₂ 消火器	T 1	機能・性能点検	6 M※	○	1	-	※暦月管理
監視機能	プロセス計器 1式	T 1	特性検査	1 C	○	1	監視機能確認検査	
			特性試験	2 7 M※	○	1	-	※暦月管理
	エリア放射線モニタ 10台	T 1	特性検査	1 C	○	1	エリア放射線モニタリング設備機能確認検査(その2)	
			特性試験	1 F Y	○	1	-	
	エリア放射線モニタ 7台	T 1	特性検査	1 C	○	1	エリア放射線モニタリング設備機能確認検査(その1)	
			特性試験	2 7 M※	○	1	-	※暦月管理
燃料設備	使用済燃料輸送容器 1基	T 1	外観点検	1 Y	○	1	-	保管期間中のみ実施。
			外観点検, 漏えい試験	使用開始時に点検実施	-	-	-	
			外観・漏えい検査	使用開始時に検査実施	-	-	使用済燃料輸送容器機能確認検査	
廃棄設備	固体廃棄物移送容器 1基	T 1	外観点検	使用開始時に点検実施	-	-	-	
			外観検査	使用開始時に検査実施	-	-	固体廃棄物移送容器外観検査	
濃縮洗濯廃液系	濃縮洗濯廃液乾燥装置 1式	T 1	機能・性能検査	1 C	○	1	濃縮洗濯廃液乾燥装置運転性能検査	
	濃縮洗濯廃液復水器	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
			漏えい試験	B	-	-	-	
	濃縮洗濯廃液乾燥機	T 1	分解点検	C B M	-	-	-	(巡視 1 回/日)
漏えい試験			B	-	-	-		

福島第二原子力発電所 第1号機 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	保全の重要度	点検及び試験項目	保全方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保全サイクル)	検査名	備考 ()内は適用する状態監視方法
試料分析関係設備	γ線スペクトロメータ 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	試料分析関係設備機能確認検査	
	液体シンチレーション計数装置 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	試料分析関係設備機能確認検査	
	α・β比例計数測定装置 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	1	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	1	試料分析関係設備機能確認検査	
	低バックグラウンドガスフロー計数装置 1式	T1	外観検査 特性検査 機能・性能検査	13M※	○	—	—	※暦月管理
			機能・性能検査	1C	○	—	試料分析関係設備機能確認検査	
減容装置	減容装置	T1	機能・性能検査	1C	○	1	減容装置運転状態確認検査	
			分解点検	56M※	—	—	—	※暦月管理
			簡易点検	CBM	—	—	—	(運転時/回)
非常用照明	非常用照明 1式	T1	機能・性能検査	1C	○	1	非常用照明機能確認検査	
			機能・性能点検	1Y	○	1	—	

2. 原子力規制委員会の内規に従い実施する点検

機器又は系統名	実施数 (機器名)	保安の 重要度	点検及び試験項目	保安方式 または頻度	今回の 実施計画	前回実施時期 (保安サイク ル)	検査名	備 考 () 内は適用する状態監視方法
対象なし	-	-	-	-	-	-	-	

添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

目 次

1. 定期事業者検査の判定方法	1
-----------------	---

表-1 検査の方法の考え方について

1. 定期事業者検査の判定方法

(1) 定期事業者検査の実施における考え方

定期事業者検査の実施にあたっては、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第1項において検査の方法が規定されており、これに伴い表-1に記載する方法に基づき、対象設備に対して定期事業者検査を実施する。

また、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第56条第2項では、定期事業者検査においては、一定の期間を設定し、その期間において技術基準に適合する状態を維持するかどうかを判定する方法で行うことが規定されている。

定期事業者検査の対象となる設備については、技術基準への適合維持が要求されていることから、その実施頻度の設定においては、所定の機能を発揮できなくなる前、すなわち技術基準に適合する状態を維持すると考えられる段階に定期事業者検査を行うように考慮しており、その実施頻度を定期事業者検査の一定の期間とする。この実施頻度から設定した定期事業者検査の一定の期間の最短は、定期事業者検査期間中に実施する検査の最短の間隔である13ヶ月（定期事業者検査終了からの期間）とする。

表－1 検査の方法の考え方について

実用発電用原子炉の設置、 運転等に関する規則 第56条	検査の方法	
① 開放，分解，非破壊検査そ の他の各部の損傷，変形， 摩耗及び異常の発生状況を 確認するために十分な方法	分解検査及び開放検査	機器等を分解，開放した状態でき裂，変形，摩 耗等の有無を目視等により確認する。
	外観検査	機器等を分解又は開放しない状態で漏えい又は その形跡，き裂，変形等の有無を目視等により 確認する。
	非破壊検査	放射線透過試験，超音波探傷試験，磁粉探傷試 験，浸透探傷試験，過流探傷試験，目視試験等 により，機器等の内外表面及び内部欠陥の有無 等を確認する。
	漏えい（率）検査	系統及び機器等の点検完了後，所定の圧力にお いて耐圧試験等を行い，著しい漏えいの有無又 は漏えい率 ^{※1} を確認する。
② 試運転その他の機能及び作 動の状況を確認するために 十分な方法	特性検査	電気設備及び計測制御設備について絶縁抵抗測 定 ^{※2} ，校正，設定値確認検査等を行い，機器等 の特性を確認する。
	機能・性能検査	系統及び機器等の点検完了後，作動試験，試運 転およびインターロック試験等を行い，機器単 体又は系統の機能・性能等を確認する。
	総合性能検査	各設備の点検完了後に，定格出力近傍で発電用 原子炉施設の運転を行い，各発電用原子炉施設 の運転状態が正常であること及び各種パラメー タが妥当な値であることを確認する。

※1 漏えい率の確認には、「②試運転その他の機能及び作動の状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

※2 絶縁抵抗測定には、「①開放，分解，非破壊検査その他の各部の損傷，変形，摩耗及び異常の発生状況を確認するために十分な方法」を兼ねるものがある。

上表の検査の方法にて実施する具体的な定期事業者検査は点検計画（添付書類三 別紙）のとおり。

添付書類五 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二，三，四）からの変更内容

1. 添付書類二 発電用原子炉及び施設管理の重要度が高い系統について定量的に定める施設管理の目標

別紙－１のとおり

2. 添付書類三 施設管理の実施に関する計画

別紙－２のとおり

3. 添付書類四 定期事業者検査の判定方法（一定の期間を含む）

なし

1. 保全活動管理指標 系統レベル

No.	系統名	要求機能	予防可能故障回数 目標値	変更内容
1	G 4 1 燃料プール冷 却浄化系	放射性物質放出の防 止機能(MS-2) [燃料プール水流出 防止機能]	< 2回/サイクル	・ 保全活動管理指標の見直し (有効性評価の結果, 設定し ない)

保全活動管理指標 系統レベル 変更比較表

変更前				変更後				備考
1. 系統レベル				1. 系統レベル				① 保全活動管理指標の見直し
系統名	要求機能	予防可能故障回数 目標値	備考	系統名	要求機能	予防可能故障回数 目標値	備考	
F15 燃料取替機器	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2) [燃料取扱機能]	<2 回/サイクル		F15 燃料取替機器	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2) [燃料取扱機能]	<2 回/サイクル		
F16 燃料貯蔵設備	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能(PS-2)[-]	<2 回/サイクル		F16 燃料貯蔵設備	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能(PS-2)[-]	<2 回/サイクル		
F31 プール付	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能(PS-2)[-]	<2 回/サイクル		F31 プール付	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能(PS-2)[-]	<2 回/サイクル		
G41 燃料プール冷却 浄化系	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能の間接関連系 (PS-3)[燃料プール水冷却機能]	<2 回/サイクル		G41 燃料プール冷却 浄化系	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接 続されていないものであって放射性物 質を貯蔵する機能の間接関連系 (PS-3)[燃料プール水冷却機能]	<2 回/サイクル		
① G41 燃料プール冷却 浄化系	放射性物質放出の防止機能(MS-2) [燃料プール水流出防止機能]	<2 回/サイクル		① U31 クレーン及びホスト	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2) [燃料取扱機能]	<2 回/サイクル		
U31 クレーン及びホスト	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2) [燃料取扱機能]	<2 回/サイクル		U43 消火系	(ノンクラス)[代替注水機能(AM 対策)]	<2 回/サイクル		
U43 消火系	(ノンクラス)[代替注水機能(AM 対策)]	<2 回/サイクル						

1. 点検計画

No.	実施数 (機器名)	変更内容	点検計画 該当ページ
1	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料プールポンプ (A) ・燃料プールポンプ (B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・備考の記載適正化 (※暦月管理を削除) 	2 / 20
2	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料プール補給水ポンプ 電動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・振動診断 1 C を削除 	2 / 20
3	<ul style="list-style-type: none"> ・R/B送風機 (A) ・R/B送風機 (B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全方式の見直し (CBMからTBM(120M※) へ変更 (有効性評価の結果、保 全方式を変更)) ・振動診断 3 M を削除 ・※暦月管理を追記 	3 / 20
4	<ul style="list-style-type: none"> ・R/B排風機 (A) ・R/B排風機 (B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・備考の記載適正化 (※暦月管理を削除) 	3 / 20
5	<ul style="list-style-type: none"> ・R/B 排風機(A) 電動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・振動診断 3 M を削除 	3 / 20
6	<ul style="list-style-type: none"> ・R/B 排風機(B) 電動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・振動診断 3 M を削除 ・赤外線診断 6 M を削除 	3 / 20
7	<ul style="list-style-type: none"> ・RW/A送風機 (A) ・RW/A送風機 (B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保全方式の見直し (CBMからTBM(120M※) へ変更 (有効性評価の結果、保 全方式を変更)) ・振動診断 3 M を削除 ・※暦月管理を追記 	4 / 20
8	<ul style="list-style-type: none"> ・T/B排風機 (A) 電動機 ・T/B排風機 (B) 電動機 ・T/B排風機 (C) 電動機 ・T/Bオペフロ排風機 (B) 電動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・振動診断 3 M を削除 	5 / 20

No.	実施数 (機器名)	変更内容	点検計画 該当ページ
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ T/B オペフロ送風機 (A) ・ T/B オペフロ送風機 (B) ・ CH/B送風機 (A) ・ CH/B排風機 (A) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全方式の見直し (CBMからTBM(120M※)へ変更 (有効性評価の結果、保全方式を変更)) ・ 振動診断3Mを削除 ・ ※暦月管理を追記 	5 / 20
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ T/Bオペフロ排風機 (A) 電動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 振動診断3Mを削除 ・ 赤外線診断6Mを削除 	5 / 20
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ RW/B 排風機 (A) 電動機 ・ RW/B 排風機 (B) 電動機 ・ RW/B 排風機 (C) 電動機 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全方式の見直し (CBMからTBM(7FY)へ変更 (有効性評価の結果、保全方式を変更)) ・ 振動診断3Mを削除 	6 / 20
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ RW/B ランドリ送風機 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全方式の見直し (CBMからTBM(120M※)へ変更 (有効性評価の結果、保全方式を変更)) ・ 振動診断3Mを削除 ・ ※暦月管理を追記 	6 / 20
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイトバンカ建屋給気ファン (A) ・ サイトバンカ建屋給気ファン (B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全方式の見直し (CBMからTBM(120M※)へ変更 (有効性評価の結果、保全方式を変更)) ・ 振動診断3Mを削除 ・ ※暦月管理を追記 	7 / 20
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洗濯廃液系濃縮装置 1式 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施数 (機器名) の記載適正化 (「放射性廃棄物処理機能」から「洗濯廃液系濃縮装置 1式」へ修正) 	14 / 20

No.	実施数（機器名）	変更内容	点検計画 該当ページ
15	・サイトバンカ貯蔵プール	・実施数（機器名）の記載適正化 （「サイトバンカ建屋 貯蔵プール」から「サイトバンカ貯蔵プール」へ修正）	15 / 20
16	・建物 1式	・点検頻度の記載適正化 （2Yから2Cへ修正）	17 / 20
17	・原子炉建屋（エアロック扉） ・原子炉建屋避雷設備	・実施数（機器名）の記載適正化 （原子炉建屋（エアロック扉）及び原子炉建屋避雷設備削除）	18 / 20
18	・固体廃棄物貯蔵庫	・記載漏れによる実施数（機器名）の追加 （固体廃棄物貯蔵庫）	18 / 20
19	・排気筒（筒身）	・記載漏れによる点検及び試験項目の追加 （外観検査） ・検査名の記載適正化 （排気筒外観検査削除） ・実施数（機器名）の記載適正化 （「排気筒（筒身）」から「1号機排気筒（筒身）」と「1～4号機Rw排気筒（筒身）」へ修正）	18 / 20
20	・ホース置き場 ・移動形のCO ₂ 消火器	・記載漏れによる実施数（機器名）の追加 （ホース置き場，移動形のCO ₂ 消火器）	19 / 20

No.	実施数 (機器名)	変更内容	点検計画 該当ページ
21	・濃縮洗濯廃液乾燥装置 1 式	・実施数 (機器名) の記載適正化 (「放射性廃棄物処理機能」から 「濃縮洗濯廃液乾燥装置 1 式」 へ修正)	19 / 20
22	・分光光度計 1 式 ・蛍光 X 線分析装置 1 式 ・比電導度計 1 式 ・pH 計 1 式	・実施数 (機器名) の記載適正化 (分光光度計 1 式, 蛍光 X 線分 析装置 1 式, 比電導度計 1 式, pH 計 1 式を削除)	20 / 20
23	・低バックグラウンドガス フロー計数装置 1 式	・記載漏れによる実施数 (機器名) の追加 (低バックグラウンドガスフロー 計数装置 1 式)	20 / 20
24	・非常用照明 1 式	・点検及び試験項目の記載適正化 (機能・性能試験から機能・性能 点検へ修正)	20 / 20

No.	機器又は系統名	変更内容	点検計画 該当ページ
1	・試料分析関係設備	・機器又は系統名の記載適正化 (「試料分析用装置」から「試料分 析関係設備」へ修正)	20 / 20

添付書類六 前回の定期事業者検査報告内容（添付書類二及び三）についての
評価結果（保全の有効性評価の結果に関する説明書）

福島第二原子力発電所 第1号機

保全の有効性評価の結果に関する説明書

これまでの保全活動で得られた情報をもとに継続的な改善につなげるよう保全の有効性評価を実施した。

前保全サイクルにおける保全の有効性評価結果については、添付－1のとおり。

また、これらの評価結果を踏まえ、保全内容の変更を行ったものは、添付－2のとおり。

添付－1 保全の有効性評価結果について

添付－2 保全の有効性評価結果等により保全へ反映した事項

参考 保全活動管理指標の実績

保全の有効性評価結果について

施設管理基本マニュアルに基づき、有効性評価を実施。

定期的な評価のインプット			総合評価
分類1	分類2 (当社マニュアル上の分類)	対象期間	
a. 保全活動管理 指標の監視結果	1. PCに関する保全の有効性 評価結果	2021. 2. 1～ 2021. 5. 23	<u>プラントレベル</u> プラントレベルのうち、工学的安全施設の計画外作動回数 に関わるプラントレベルの事象発生はなく、保全が有効に機 能していると評価した。
		2021. 2. 1～ 2022. 9. 5	<u>システムレベル</u> システムレベルの指標は目標値以内であり、保全が有効に機能 していると評価した。
b. 保全データ の推移及び経年 劣化の長期的な 傾向監視の実績	2. 保全データの推移及び 経年劣化の長期的な傾向 監視の実績に関する保全 の有効性評価結果	2021. 2. 1～ 2022. 9. 5	<u>点検手入れ前状態データ</u> データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績に ついて、点検手入れ前状態データの評価を行った結果、現状 の保全が有効に機能していると評価した。
c. トラブル など運転経験	3. トラブルなど運転経 験・他プラントのトラブル 及び経年劣化傾向に係るデ ータに関する保全の有効性 評価結果 (当社では不適合管理シス テムにより左記c及びdを 一括管理)	2021. 2. 1～ 2022. 9. 5	<u>当該プラント不適合</u> <u>他プラント不適合</u> 不適合情報(当該プラント不適合及び他プラント不適合の 水平展開)を用いて評価を実施し、保全計画(点検計画)へ 反映するものはなかった。
d. 他プラント のトラブル及び 経年劣化傾向に 係るデータ			
e. リスク情 報, 科学的知見	4. リスク情報, 科学的知 見に関する保全の有効性 評価結果	2021. 2. 1～ 2022. 9. 5	<u>リスク情報</u> この期間においてリスク情報の変更はなかった。
			<u>科学的知見(規制当局からの情報)</u> 原子力規制委員会からの指示文書を踏まえ、評価を実施 し、保全計画へ反映するものはなかった。
			<u>科学的知見(社内指示文書)</u> 社内指示文書を踏まえ、評価を実施し、保全計画(補修, 取替え及び改造計画)へ反映するものはなかった。
			<u>科学的知見(技術検討)</u> 保全活動の最適化のための技術検討(RCM評価等)結果を 基に、保全計画(点検計画)について添付－2のとおり反映 した。

補足：「保全の有効性評価結果について」(添付－1)及び「保全の有効性評価結果等により保全へ反映した事項」(添付－2)の評価内容にて使用している略語について以下に補足しておく。

- ・ RCM 信頼性重視保全
- ・ FMECA 故障モードと影響および致命度解析

保全の有効性評価結果等により保全へ反映した事項

1. 保全活動管理指標への反映

No.	系統・機器名	保全活動管理指標への反映内容			評価			備考
		項目	変更前	変更後	インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	
1	G41 燃料プール冷却浄化系	放射性物質放出の防止機能 (MS-2) [燃料プール水流出防止機能]	・MPFF 目標値: <2 回 / サイクル	—	4	系統レベル設定の有効性評価から保全活動管理指標の見直しをおこなった。	系統レベル設定から性能維持施設に該当しないため設定しない。	—

※インプット情報の項目は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

保全の有効性評価結果等により保全へ反映した事項

2. 点検計画への反映

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価			備考	
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容		4つの評価項目※※
		項目	変更前	変更後					
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ R/B送風機 (A), (B) ・ RW/A送風機 (A), (B) ・ T/Bオペフロ送風機 (A), (B) ・ CH/B送風機 (A) ・ CH/B排風機 (A) ・ RW/Bランドリ送風機 ・ サイトバンカ建屋給気ファン (A), (B) 	簡易点検または分解点検	CBM	120M (暦月管理)	4	<p>保全最適化のために技術評価を実施し、保全方式の見直しをおこなった。</p> <p>当該機器は、クリチカル部位に対して状態監視で異常兆候を検知した場合に点検を行い、機器の性能に影響を及ぼす内部構成部品の劣化傾向もあわせて把握することで予防保全が可能と判断し、状態基準保全を実施しているが、設備診断での異常兆候の検知が困難であることから保全方式を「CBM」⇒「TBM」に変更する。</p> <p>点検頻度については、前回点検以降10年以上異常兆候が確認されておらず、設備診断においても異常は確認されていない。</p> <p>また、直動型ファンのFMECA選定部位(クリチカル部位)は羽根車の腐食(全面腐食)であり、過去の点検結果において羽根車の腐食は確認されていないことから点検頻度を120M(暦月管理)とする。</p>	③	—	

※インプット情報の項目は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※点検頻度の変更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③研究成果等による評価
- ④類似機器等の使用実績による評価

保全の有効性評価結果等により保全へ反映した事項

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプット情報の項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
2	・RW/B 排風機 (A), (B), (C) 電動機	分解点検	CBM	7FY	4	保全最適化のために技術評価を実施し、保全方式の見直しをおこなった。	クリチカル部位 (くさび) に対して、状態監視による異常検知が困難であるため、時間基準による点検が必要である。 以上のことから、類似機器の点検周期102M (暦月管理) の運用実績を踏まえ、7FYにて分解点検を実施する。	②④	—

※インプット情報の項目は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※点検頻度の変更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③研究成果等による評価
- ④類似機器等の使用実績による評価

保全の有効性評価結果等により保全へ反映した事項

No.	系統・機器名	保全への反映内容			評価				備考
		点検計画の保全方式又は点検内容の変更			インプ ット情 報の 項目※	事象の概要	評価内容	4つの評価 項目 ※※	
		項目	変更前	変更後					
3	・低バックグラ ウンドガスフ ロー計数装置	外観検査 特性検査 機能・性能検 査	—	1 3 M (暦月管理)	4	保全最適化のため、性能維持施設と自主管理設備について、廃止措置計画における性能維持施設の性能に関する整理を実施し、性能維持施設の見直しをおこなった。	1号機第1回サイクル時は、性能維持施設として、分光光度計・蛍光X線分析装置・比電導度計・pH計・γ線スペクトロメータ・液体シンチレーション計数装置・αβ比例計数測定装置の計測器を定めていたが、福島第二原子力発電所1号発電用原子炉廃止措置計画許可申請書 第6-2表 性能維持施設（1号及び2号炉共用又は1号、2号、3号及び4号炉共用として付帯する施設及び設備）における試料分析関係設備の性能として要求されていることは、放射能測定ができる状態であることであるため、α線及びβ線を測定するα・β比例計数測定装置、β線を測定する低バックグラウンドガスフロー計数装置、トリチウム等の低エネルギーβ線を測定する液体シンチレーション計数装置、γ線核種を測定するγ線スペクトロメータを性能維持施設とすることから、低バックグラウンドガスフロー計数装置を点検計画へ追加する。	③	—

※インプット情報の項目は添付-1の定期的な評価のインプット分類2と対応

※※点検頻度の変更に適用した評価方法

- ①点検及び取替結果の評価
- ②劣化トレンドによる評価
- ③研究成果等による評価
- ④類似機器等の使用実績による評価

保全活動管理指標の実績

1. 系統レベル（採取期間：2021年5月24日～2022年9月5日）

No.	系統名	要求機能	予防可能故障回数		備考
			目標値	実績値	
1	F15 燃料取替機器	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2)[燃料取扱機能]	< 2回/サイクル	0回	
2	F16 燃料貯蔵設備	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能(PS-2)[-]	< 2回/サイクル	0回	
3	F31 プールライフ	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能(PS-2)[-]	< 2回/サイクル	0回	
4	G41 燃料プール冷却浄化系	原子炉冷却材圧力バウンダリに直接接続されていないものであって放射性物質を貯蔵する機能の間接関連系(PS-3)[燃料プール水冷却機能]	< 2回/サイクル	0回	
5	G41 燃料プール冷却浄化系	放射性物質放出の防止機能(MS-2)[燃料プール水流出防止機能]	< 2回/サイクル	0回	
6	U31 クレーン及びホスト	燃料を安全に取り扱う機能(PS-2)[燃料取扱機能]	< 2回/サイクル	0回	
7	U43 消火系	(ノンクラス)[代替注水機能(AM 対策)]	< 2回/サイクル	0回	

添付書類七 定期事業者検査の判定方法（一定の期間に限る）を変更した場合の
実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第五十六条第三項
各号の事項について

1. 定期事業者検査の判定方法（一定の期間に限る）を変更

なし